

# 創

—第93回—

## あの空みたい

能登半島地震が起きて3か月が経とうとしています。いまだ避難所生活を余儀なくされている方々がたくさんいらっしゃいます。南海トラフ大地震を抱える別府にとって能登半島での出来事は他人事ではありません。

先日、内籠の防災備蓄倉庫が完成しました。大規模な備蓄倉庫の整備を令和3年から行い、内籠で3つ目。これで市内バランス良く備蓄倉庫が完成しました。

しかし、備蓄倉庫にある品だけでは到底足りません。これを機に防災の機運が高まりそれぞれの家庭で考えられる備蓄や備えをお願いします。

さて、別府市も平成28年に熊本地震を経験しました。それを教訓に、別府らしいあるモノを作りました。それが今現在、被災した能登町、珠洲



別府市長  
長野 恭紘

市で入浴支援をしている『幻想の湯』です。その名の通り、あり得ない場所に突然『幻想』の『湯』が現れる訳です。生活が少し安定してくると衛生面、特に入浴の課題が出てきます。このタイミングでの入浴支援が求められると判断しました。実際に多くの皆様に喜ばれています。

その中でも、ある高齢男性の言葉が耳に残ります。若い頃に別府に来た事があるその方は、久しぶりの別府温泉に感激され、リポーターに今の感想を尋ねられました。すると「あの空みたい。青空になっているね。いつときは曇っていたけど、またパアッと晴れた感じやね。」と。涙が出ました。この言葉を聞いただけで現地で頑張っているスタッフも元気に頑張れると思います。そして我々市民にも誇りや勇気をいただく事ができたいと思っています。

まだまだ復旧・復興は道半ば。これからも私達にできる支援を考えてまいります。  
(2月9日執筆)

## フォトベっぷ



**新**たなワークスタイル—新しいビジネス創出や関係人口・関係企業を増やすことなどを目的に、別府ワークショップ WEEK が開催されました。19 都府県から 33 名の参加があり、仕事と温泉の相性の良さを体感したり、地域と交流したりと各々のワークショップを満喫していました。



**別**府の未来を創る知の拠点—1月22日、別府市新図書館外新築工事起工式が執り行われ、多くの関係者が参加し、工事中の安全を祈願しました。新図書館と地域交流センターからなる複合施設として、令和8年3月の開館を予定しています。



**竹**工芸、想いをかたちに—1月30日～2月18日、竹細工伝統産業会館で第60回くらしの中の竹工芸展が開催されました。節目の年として初めて全国から作品を募集したところ、109点の力作が集まり、来場者は個性豊かな作品を楽しんでいました。



**別**府のまちを駆け抜ける—2月4日、第72回別府大分毎日マラソン大会が開催されました。レース前日には、ビーコンプラザで全国から集まった選手たちを激励するとともに別府の名物などでおもてなしをしました。